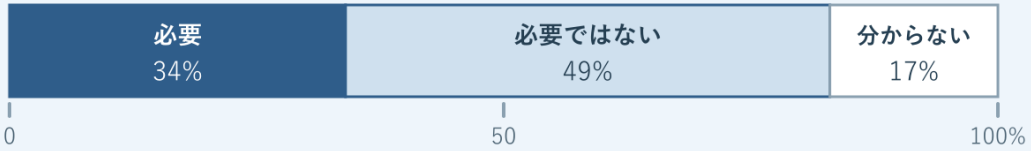
世論調査の結果を読む

同じテーマなのに、なぜ結果がちがうのか。何を確かめて読めばよいか

調査A（架空）

1. 質問：市の財政が厳しい中で、駅前に新しい図書館は必要だと思いますか。

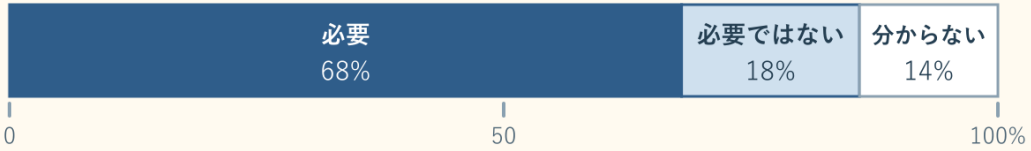


2. 相手と人数：市内の18歳以上から無作為に選んだ1,000人
3. 調べ方：郵送
4. 時期：〇年4月

A・Bで②〜④はそろえてあり、ちがうのは①の質問文だけ

調査B（架空）

1. 質問：子どもや高齢者が学べる新しい図書館は、駅前に必要だと思いますか。



2. 相手と人数：Aと同じ方法で選んだ、別の1,000人
3. 調べ方：郵送（Aと同じ）
4. 時期：〇年4月（Aと同じ）

結果を読むときに確かめる4つの点

1 質問文

前置きや言葉の選び方が、答えを一方へ引っぱっていないか

2 調べた相手と人数

だれに、何人に聞いたか。答えた人で全体の意見を表せるか

3 調べ方

無作為に選んだ相手に聞いたか。答えたい人だけが答える方法ではないか

4 調べた時期

いつ調べたか。直前に、考えを変えるような出来事がなかったか

結果が広まると 調査の結果 → 報道やSNSで広まる → 人々の意見（世論）の形成や、政治の判断に影響する

※ 調査・質問・数値はすべて架空の例で、実際の調査の結果ではない。帯の長さは回答の割合（%）。